

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年7月8日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

3歳児…葉っぱの変化を楽しもう

<テーマ設定理由>

・前回の活動で身近な葉に触れ、並べてみたり、葉がどうなっているのか観察し興味を持つことができた。水遊びが始まり水の中に葉っぱを入れている子どもがいたためそれを探究活動にした。また、氷で遊ぶ機会もあり、凍らせた葉はようになるのか、葉の変化に気が付くことを目的に考えた。

## 2. 活動スケジュール

- ・5人ずつグループに分かれ水遊びコーナーで葉に触れる
  - ・タライの水の中に入っている葉
  - ・凍らせておいた葉
  - ・園庭で育てている香りがする葉

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・大きめの形の違う色々な葉っぱ(水に浮かべる物と、事前に凍らせておく物に分けて準備する)
- ・香りがする葉っぱ・花(園庭で育てているバジル、ミント、マリーゴールドなど)
- ・たらい2つ・ざる5つ

<活動内容>

### ・1グループ

タライの中を覗き込むと水に浮かんでいる葉っぱよりも凍らせてある葉に興味を持ち「バナナみたい」と積極的に触る。手で揉むと香りがするミントやバジルには興味をしめさず、保育士が「匂いがするかな？」と近づけると、身を反らせながら匂いを確認し、その後は嗅ごうとしなかった。

### ・2グループ

タライの中の氷から溶け出ている葉に気が付き「葉っぱ出てきて」と氷から取り出そうとしたり、溶けかけた氷の葉を透かして覗き葉の様子を観察し発見したことを友達や保育士に「みてー」と教えていた。また、葉を水の中で揉んだり絞り、葉が柔らかくなる感触を味わう。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



### ・3グループ

氷から溶け出てきた葉を「葉っぱ、冷たくて柔らかい」と指に巻きつけたり、凍った葉っぱの形を手にしながらか「大きな食パンみたい」と食べる真似をする。バジルを保育士が揉んでいると「ウインターの匂いする」と言う子がいた。「どれどれ？」と他の子どもも匂いを嗅ぎ、一緒に揉んで嗅いでいた。

### ・4グループ

マリーゴールドを凍らせた物を見て「わぁ綺麗」とうっとりした視線で見ると「ミントの葉の匂いがしたことに気が付くと「なんかいい匂いがする」とタライの中の葉を手に取り匂いがする葉を探す。葉を揉んでいるうちに、葉が透けてくると「色が違う」と水に浮かんでいる葉を集めて見比べていた。

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・前回、自分の好きな葉を選び並べたり、感触を楽しんだ。今回は葉っぱを水に浮かべている子がいたのでその姿を受け止め、みんなで葉っぱを水に入れて遊んだ。また、暑い時期で氷の感触を味わいたかったので葉を凍らせたならどうなるのか「葉の変化」に気が付きながら、イメージした思いを言葉で発してほしくて「氷の葉っぱ」も用意した。
  - ・「氷の葉っぱ」はどのように葉を凍らせたなら子ども達に伝わりやすいか、ジップロックや製氷容器に入れ準備した。暑い日だったので子ども達は「氷の葉っぱの」に十分触れて観察することができた。また使用した葉は保育園で育てている植物や野菜の葉っぱだったので、子ども達に「この葉っぱはね…」と伝えると「あ！」と気が付いてイメージが持てることができた。
  - ・氷が溶け出して、葉や花が出てくると保育士や友達に「みてー」と嬉しそうに教えたり、自分も見つけてみようとしていた。友達の姿を見て自分も発見してみたいという姿が見られた。
  - ・バジルやミントの葉を揉むと匂いがすること、水の中で葉を揉むと透けることなど、今までは体験できなかった発見をたくさんできたように思う。
  - ・次回は葉の葉脈や「これ何？」と思う葉の不思議を電子黒板で観察したいと思う。